

2011 年度前期 授業評価アンケート結果について

システムデザイン学部・研究科FDニュース No. 4

《 学生の皆さんへ 》 システムデザイン学部・研究科では2011年7月11日～7月25日の期間、学部と大学院で前期に開講された講義を対象に授業評価アンケートを実施しました。今回も多くの学生の皆さんに回答していただきました。

ご協力大変ありがとうございました。

アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。

詳しくはシステムデザイン学部ホームページに掲載されています。そちらもご覧ください。

※以下の質問事項の一部には簡略化表記しているものがあります。

システムデザイン学部科目の回答総平均

(開講授業数85中73授業からの回答)

“強くそう思う”と“そう思う”の回答割合

()内は 2010 年度前期

0 50 100(%)

1	授業開始前にシラバスをよく読みましたか	★★★★●	46%(43%)
2	授業の目的と応用分野に対する説明はありましたか	★★★★☆★	59%(59%)
3	成績評価法は明確に説明されましたか	★★★★☆●	54%(52%)
4	資料や板書は見やすく内容も理解しやすかったですか	★★★★☆	52%(49%)
5	教員が熱意を持って授業を行っていると感じましたか	★★★★☆★	63%(63%)
6	学生の理解度を確かめるような工夫がありましたか	★★★★☆	53%(50%)
7	授業の内容は適切なレベルだったでしょうか	★★★★☆	50%(46%)
8	この授業に満足しましたか	★★★★☆●	54%(53%)
9	解らないことは質問したり調べるなど努力しましたか	★★★★	41%(37%)
10	授業にどの程度出席しましたか(欠席1回以下)	★★★★☆★★●	77%(71%)
11	週にどの位この授業に関連した学習をしましたか(30分超)	★★★★☆★●	65%(61%)

▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

「板書が非常に見易く、口頭による説明もまとまっていて聞き易い。例題の難易度がちょうど良い」

「最新の情報なども取り入れつつの説明がわかりやすかった」

▶ 授業担当者からのコメント

「授業に関連した書籍資料の回覧、映像資料の上映」「復習と演習を毎回実施した」「小テストを実施し学生同士で採点」その他、授業や教室に対しての学生人数の適正化や、教室、授業に使用する機材について改善してほしいとの意見がありました。

システムデザイン研究科科目の回答総平均

(開講授業数39中34授業からの回答)

“強く思う”と“思う”の回答割合

()内は 2010 年度前期

	0	50	100(%)
1 授業開始前にシラバスをよく読みましたか	★★★★☆★★		69%(64%)
2 授業の目的と応用分野に対する説明はありましたか	★★★★☆★★	●	77%(79%)
3 成績評価法は明確に説明されましたか	★★★★☆★★		71%(68%)
4 資料や板書は見やすく内容も理解しやすかったですか	★★★★☆★★	●	65%(57%)
5 教員が熱意を持って授業を行っていると感じましたか	★★★★☆★★★		79%(74%)
6 学生の理解度を確かめるような工夫がありましたか	★★★★☆★★	●	65%(55%)
7 授業の内容は適切なレベルだったでしょうか	★★★★☆★★	●	66%(57%)
8 この授業に満足しましたか	★★★★☆★★		71%(63%)
9 解らないことは質問したり調べるなど努力しましたか	★★★★☆	●	55%(51%)
10 授業にどの程度出席しましたか(欠席1回以下)	★★★★☆★★★		81%(77%)
11 週にどの位この授業に関連した学習をしましたか(30分超)	★★★★☆★★		62%(44%)

▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

「自由に質問し、分かりやすく先生が丁寧に答えてくれるシステムが良かった」

「ディスカッションできるのが良かった。周りの意見もきくことができた」

▶ 授業担当者からのコメント

「学生全員にプレゼンさせた」「グループワークを中心とした授業形式」「学生一人一人の理解度、制作進行能力によってマンツーマン」。また、「ネットラーニングシステムで資料提供、演習等を行った」「(授業においても)個別の研究テーマのアプローチの仕方や接点を意識させるようにした」等、学生が積極的に授業に参加して、履修するような工夫や配慮をしているというコメントが複数寄せられました。

システムデザイン学部・研究科FD部会から

2011 年度前期授業評価アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。今回も高い回収率(学部:85.9%, 研究科:87.2%)を確保することができ、教育状況を把握し、授業改善を図るうえで貴重な情報を収集することができました。今回初めて、設問12及び13に教員オリジナルの設問を設定しました。また自由記述欄からは数字では表せない実態を得ることができています。アンケート結果は科目ごとの回答者個人が特定できないような形に集計処理されたうえで、個々の教員にフィードバックされ、授業のさらなる改善の参考にしてもらっています。今年度後期もまたアンケート実施を予定しておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

あまり聞きなれないと思う方がまだ多いのでは。
起源は米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」とされています。

首都大学東京
システムデザイン学部・研究科FD部会
2011年12月7日

